

平成25年度 事業別予算概要

事業名	62100 番枝	観光宣伝推進事業費	内線 2217	会計	1 一般会計	総合計画	政策	4 「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画	市長公約	1 積極的な観光振興策を実施します。 ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 ・高山市を訪れる年間観光客50万人、外国人観光客30万人を目指します。
担当課	商工観光部 観光課			款	6 商工費		分野	1 観光	実施計画事業	広域観光推進事業、観光情報発信事業		
				項	2 観光費		基本施策	2 多くの人々に地域の魅力を知ってもらう	H25実施計画額	14,900 千円		
				目	1 観光振興費		施策	1 戦略的な誘客宣伝				

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	観光客	どうしたいのか (意図)	・高山への来訪促進 ・周遊・滞在観光の魅力の向上 ・観光情報発信の強化	概要	事業の実手法(手段)	・印刷物・HPなど各種媒体を活用した誘客宣伝 ・広域連携、民間事業者と連携した誘客宣伝 ・各種キャンペーン、物産展等出向宣伝によるPR ・継続的なイベントや関係他団体事業支援等の実施による誘客宣伝
	対象者数	— 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	・誘客パンフレットやDVD、HP等による情報発信 ・物産展、旅行エージェント、メディアを活用した宣伝 ・各種旅行関係者の視察受入								
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25	
	活動指標	総合パンフレット作成部数	部	目標値					
		実績値	300,000	200,000					
	算出根拠等	達成率(%)							
	活動指標	ふらり散策マップ作成部数	部	目標値					
		実績値	600,000	830,000					
	算出根拠等	達成率(%)							
	成果指標	観光客入込数	千人	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000	
		実績値	3,812	3,481					
	算出根拠等	高山市観光統計	達成率(%)						
	成果指標	外国人観光客入込数	千人	目標値	300	300	300	300	
		実績値	187	95					
算出根拠等	高山市観光統計	達成率(%)							
算出根拠等	達成率(%)								
算出根拠等	達成率(%)								
補足	首都圏・中京方面への節電対策のための夏休み延長企業に対するPRを実施								

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	・観光客のニーズの把握と動向を的確に捉えた、有効な誘客宣伝活動
-----------------	---------------------------------

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	・観光統計、アンケート調査の分析によるニーズ把握																	
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">・物産展や旅行エージェント、メディアと連携した宣伝強化</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">・観光宣伝は、ターゲットに応じて常に最適な宣伝方法・媒体を選択し、効果的に実施する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	担当課評価	○ 維持・改善	・物産展や旅行エージェント、メディアと連携した宣伝強化		拡大		縮小	二次評価	○ 維持・改善	・観光宣伝は、ターゲットに応じて常に最適な宣伝方法・媒体を選択し、効果的に実施する必要がある。		拡大		縮小		廃止検討	
	担当課評価	○ 維持・改善	・物産展や旅行エージェント、メディアと連携した宣伝強化															
	拡大																	
	縮小																	
二次評価	○ 維持・改善	・観光宣伝は、ターゲットに応じて常に最適な宣伝方法・媒体を選択し、効果的に実施する必要がある。																
	拡大																	
	縮小																	
	廃止検討																	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	31,350	19,695	17,490	22,264
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	334	211	188	240
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成 (Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・飛騨高山展時観光キャンペーン ・観光PR用パンフレット、ポスター、DVD作成 ・夏期事業協賛広告 ・ポスター・広告媒体等デザイン ・飛騨観光宣伝協議会負担金 	要求のポイント	・飛騨高山の観光宣伝を様々な手法や媒体を用いて推進するため、国内向けの誘客宣伝、誘客対策にかかる経費を計上	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化する観光客ニーズへの対応 ・ネット等を含めた効果的な観光情報宣伝強化 ・情報通信技術を駆使した新たな誘客展開 ・滞在型観光のPR強化
------	---	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		17,490	22,264	4,774	18,990	22,990	・積算内容を精査 ・誘客ポスターのリニューアルに要する経費を計上	・乗鞍スカイライン開通40周年を迎えることから、乗鞍岳観光誘致推進に要する経費を計上
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	17,490	22,264	4,774	18,990	22,990		
	一般財源			0				

平成25年度 事業別予算概要

事業名	62110 番枝	高山祭事業費	会計	1 一般会計	政策	4 「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画	市長公約	1 積極的な観光振興策を実施します。 ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。
			款	6 商工費	分野	1 観光	実施計画事業	観光イベント開催事業		
担当課		内線 2217	項	2 観光費	基本施策	1 人々のところを魅了する滞在型・通年型観光地づくりを行う	H25実施計画額	2,000 千円		
			目	1 観光振興費	施策	1 多様な観光需要への対応				

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	観光客(高山祭来訪者)	どうしたいのか(意図)	・高山祭の認知度の向上と来訪者の増加を図る ・高山祭を安全に実施する	概要	事業の実手法(手段)	・祭協賛会組織による官民一体となった誘客宣伝 ・来訪者の受入体制の整備
	対象者数	0 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> のぼり旗設置等による事前PR 祭行事等観光案内業務、誘導看板の設置 観光客等の安全な誘導に必要な警備、器材設置等 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	成果指標	高山祭人出	千人	目標値				
				実績値	348	370		
		算出根拠等		達成率(%)				
	成果指標	観光客入込数	千人	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000
				実績値	3,812	3,481		
		算出根拠等	高山市観光統計	達成率(%)	76	70		
				目標値				
				実績値				
		算出根拠等		達成率(%)				
				目標値				
				実績値				
	算出根拠等		達成率(%)					
補足			目標値					
			実績値					
	算出根拠等		達成率(%)					

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	・高山祭の認知度を向上させ、更なる誘客を図ることが必要
-----------------	-----------------------------

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	・高山祭の認知度を向上するため、高山祭のホームページを更新するなど、インターネット等を利用した誘客宣伝を推進	
次年度の実施方針	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・祭事業のPRによる誘客宣伝の継続 ・安全、安心な事業実施と観光案内の実施
	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 5,241	5,227	5,680	6,584
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 56	56	61	71
	受益者	市民(4月1日現在)	(B) 93,822	93,312	92,861

5 予算編成 (Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> のぼり旗設置等による事前PR 祭行事等観光案内業務、誘導看板の設置 観光客等の安全な誘導に必要な警備、器材設置等 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 高山祭案内本部設置及び雑踏警備等にかかる経費 高山祭協賛会への支援 	事業実施の課題	・観光客のスムーズな誘導及び安全確保
------	--	---------	--	---------	--------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		5,680	6,584	904	5,680	5,680	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	5,680	6,584	904	5,680	5,680		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	62130 番枝	飛騨高山観光客誘致推進協議会負担金	会計	1 一般会計	政策	4 「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画	市長公約 1 積極的な観光振興策を実施します。 ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。
担当課		内線 2217	予算	6 商工費	分野	1 観光	実施計画事業	誘客推進事業、もてなしのこころ醸成事業	
			項	2 観光費	基本施策	2 多くの人々に地域の魅力を知ってもらう	H25実施計画額	21,000 千円	
			目	1 観光振興費	施策	1 戦略的な誘客宣伝			

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	観光客	どうしたいのか(意図)	・高山訪問の動機づけ及び周遊型・滞在型観光の魅力向上による観光客誘致	概要	事業の実手法(手段)	・飛騨・高山観光コンベンション協会や飛騨高山旅館ホテル協同組合等、民間団体と連携した誘客事業
	対象者数	— 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> テレビ、ラジオ、インターネット、雑誌、物産展等を活用した宣伝 ライトアップ、タイムカプセルを通して江戸時代へ、雛まつり、端午の節句、ぐるりスタンプラリー等のイベント JRと連携した観光キャンペーン 岐阜県や姉妹友好都市等と連携した観光キャンペーン NHK等メディアとの共催事業によるPR 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	出向宣伝回数	回	目標値				
		実績値	11	11				
	算出根拠等			達成率(%)				
	成果指標	観光客入込数	千人	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000
		実績値	3,812	3,481				
	算出根拠等	高山市観光統計		達成率(%)	76	70		
	成果指標	外国人観光客入込数	千人	目標値	300	300	300	300
		実績値	187	95				
	算出根拠等	高山市観光統計		達成率(%)	62	32		
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
補足	県、他団体等と連携した各種緊急キャンペーンの実施							

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 高山の認知度を向上させる更なる誘客 時代や観光客のニーズに合った手法による効果的な誘客活動の実施
-----------------	---

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	・ウルトラマラソンや国体等の機会を活用した、新たなターゲットへのPR
次年度の実施方針	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	<ul style="list-style-type: none"> 官民共同による誘客事業の継続 支所地域の観光関係団体との連携 時代や観光客のニーズに合った手法による効果的な誘客活動
二次評価	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討
	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	19,900	18,300	18,400	19,300
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	212	196	198	208
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成 (Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 飛騨・高山観光コンベンション協会や飛騨高山旅館ホテル協同組合等、民間団体と連携した誘客事業 各種観光宣伝 ライトアップ タイムカプセルを通して江戸時代へ 首都圏、関西圏誘客キャンペーン 夏期事業 味まつり 雛まつり、端午の節句 教育旅行誘致 全国誘致キャンペーン 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 官民一体の観光客誘致活動を実施するための負担金 飛騨高山教育旅行誘致推進協議会の統合による増 	事業実施の課題	・民間と連携した更なる観光客誘致の推進
------	--	---------	---	---------	---------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	18,400	19,300	900	19,300	19,300	・要求どおり	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	18,400	19,300	900	19,300	19,300		
	一般財源			0				

平成25年度 事業別予算概要

事業名	62140	飛騨高山ウルトラマラソン実行委員会負担金	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画	市長公約	積極的な観光振興策を実施します。 ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。
	番枝			款	6	商工費		分野	1	観光		実施計画事業		
担当課	商工観光部 観光課		内線	項	2	観光費	基本施策	1	人々の心を魅了する滞在型・通年型の観光地づくりを行う		H25実施計画額	千円		
			2218	目	1	観光振興費	施策	1	多様な観光需要への対応					

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	市民	どうしたいのか(意図)	・飛騨高山ウルトラマラソン開催による地域のPR、新たなターゲットの獲得 ・大会開催による地域経済の活性化や地域力の向上を図る	概要	事業の実手法(手段)	・実行委員会によるコース設定、安全対策 ・ランニング専門誌や各種ホームページ、マラソン愛好家へのDM発送などによる大会PRと飛騨高山への誘客宣伝
	対象者数	92,861 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	・走行コースに係わる調査、距離計測 ・エイドステーション・誘導員配置、荷物運搬、車両など大会運営に係る作業実施計画等の事前準備 ・大会PR						
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動指標	走行コースの調査、確認、距離計測	km	目標値		100	100	-
			実績値		100		
算出根拠等			達成率(%)		100		
活動指標	大会PR及び参加募集に係るDM発送人数	人	目標値		8,000	8,000	8,000
			実績値		8,000		
算出根拠等	高山市観光統計		達成率(%)		100		
活動指標	大会PR及び参加選手募集に係る雑誌への掲載(発行部数)	部	目標値		270,000	270,000	270,000
			実績値		270,000		
算出根拠等	高山市観光統計		達成率(%)		100		
成果指標	大会申込人数	人	目標値		1,000	2,000	2,500
			実績値		1,158		
算出根拠等			達成率(%)		116		
補足			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	H23年度は大会の準備期間であったため、分析・評価をすべて行うことはできないが、飛騨高山ウルトラマラソンを通して地域の活性化を図るには、全市民的な取り組みとするため様々な団体や個人の協力等が必要
-----------------	---

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	・市民ボランティアの募集や各種団体への協力 ・経済効果が期待できる仕掛けづくり																					
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>維持・改善</td> <td rowspan="3">・大会募集人数を拡大し、地域への経済効果を高める ・拡大に伴い、コース変更やボランティアの人数など、全市民的な取り組みに向けた大会運営を行う</td> </tr> <tr> <td>○</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>○</td> <td>維持・改善</td> <td rowspan="3">・地域への経済効果を検証・分析し、今後の事業につなげていく必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>廃止検討</td> </tr> </table>	担当課評価	維持・改善	・大会募集人数を拡大し、地域への経済効果を高める ・拡大に伴い、コース変更やボランティアの人数など、全市民的な取り組みに向けた大会運営を行う	○	拡大		縮小	二次評価	○	維持・改善	・地域への経済効果を検証・分析し、今後の事業につなげていく必要がある。		○	拡大		○	縮小			○	廃止検討
	担当課評価	維持・改善	・大会募集人数を拡大し、地域への経済効果を高める ・拡大に伴い、コース変更やボランティアの人数など、全市民的な取り組みに向けた大会運営を行う																			
○	拡大																					
	縮小																					
二次評価	○	維持・改善	・地域への経済効果を検証・分析し、今後の事業につなげていく必要がある。																			
	○	拡大																				
	○	縮小																				
		○	廃止検討																			

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	0	1,000	10,000	5,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	0	11	108	54
	受益者	市民	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成 (Action2)

事業内容	★第2回飛騨高山ウルトラマラソンの開催 ・実行委員会によるコース設定、安全対策 ・ランニング専門誌や各種ホームページ、マラソン愛好家へのDM発送などによる大会PRと飛騨高山への誘客宣伝	要求のポイント	・第2回飛騨高山ウルトラマラソン大会の開催経費 ・募集人数拡大による市負担金の軽減	事業実施の課題	・募集定員の確保 ・将来的には、参加料金収入や協賛金等で事業実施が可能ないように運営体制の強化が必要
------	--	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		10,000	5,000	△ 5,000	3,000	3,000	・積算内容を精査 ・参加料収入増による運営体制強化が見込めるため市負担金の減	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	10,000	5,000	△ 5,000	3,000	3,000		
	一般財源			0				

平成25年度 事業別予算概要

事業名	62145	観光協会等補助金(グリーンツーリズム、コンベンションビューローを除く)	内線	2209	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画		市長公約	1	積極的な観光振興策を実施します。 ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。
	番枝					1	款	6		商工費	分野	1		観光	実施計画事業			
担当課	商工観光部 観光課					項	2	観光費		基本施策	1	人々のところを魅了する滞在型・通年型観光地づくりを行う	H25実施計画額	117,000 千円				
						目	1	観光振興費		施策	1	多様な観光需要への対応						

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	市内観光協会、観光連絡協議会、旅館ホテル連絡協議会	どうしたいのか(意図)	・様々なツールを活用して飛騨高山を広く国内外にPRし、観光事業の振興及び年間を通じた観光客の誘致促進を図る	概要	事業の実手法(手段)	【観光協会運営費補助金】 会費収入額を基準として、限度額370万円(会費収入500万円以上)、130万円(会費収入500万円未満)の補助を行う
	対象者数	0 人					【観光客誘致推進事業補助金】 総額1億円を限度として、観光宣伝、情報発信、地域資源活用事業等に補助を行う

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	【観光協会運営費補助金】 市内10観光協会に対する補助金 14,312千円							
	【観光客誘致推進事業補助金】 観光連絡協議会及び旅館ホテル連絡協議会に対する補助金 81,005千円							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	観光協会等補助件数 (観光協会運営費補助金、観光客誘致推進事業補助金)	件	目標値	10	12	12	12
				実績値	10	12		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	活動指標	観光協会等補助金額 (観光協会運営費補助金、観光客誘致推進事業補助金)	千円	目標値				
				実績値	14,308	95,317		
				算出根拠等	達成率(%)			
	成果指標	観光客入込数	千人	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000
				実績値	3,812	3,481		
				算出根拠等	高山市観光統計	達成率(%)	76	70
	成果指標	外国人観光客入込数	千人	目標値	300	300	300	300
				実績値	178	95		
算出根拠等				高山市観光統計	達成率(%)	59	32	
				目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
補足	平成23年度より「観光客誘致推進事業補助金」(限度額1億円)を設立							

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	【観光客誘致推進事業補助金】 東日本大震災の影響により激減した観光客を呼び戻すある程度の効果は見られるものの、事業実施結果の詳細な分析まで至っていない。 各観光協会同士の連携もほとんどなく、それぞれ単独の事業を行っている状態となり、広域的な誘客活動まで広がっていない。 「飛騨高山」の個性を前面にPRしつつ、社会経済情勢や旅行者ニーズの変化の先を見越したイベント、キャンペーン等の実施が必要である。
-----------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	【観光客誘致推進事業補助金】 平成23年度の実績を踏まえて、誘客により効果のある事業、地域、方法を選択し、事業計画を立て、実施中。 様々な事業やイベント、ツールを活用して、国内外へ「飛騨高山」を積極的にPRし、観光客500万人、外国人観光客30万人を目指す。	
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	【観光客誘致推進事業補助金】 平成23、24年度の実績及分析を踏まえ、事業内容を取捨選択し、より効果のある事業を実施する。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・観光誘客推進事業補助金を効果的に活用し、戦略的な誘客宣伝を行う必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	14,308	95,317	115,000	115,000
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	153	1,021	1,238	1,238
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成 (Action2)

事業内容	【観光協会運営費補助金】 会費収入額を基準として、限度額370万円(会費収入500万円以上)、130万円(会費収入500万円未満)の助成 【観光客誘致推進事業補助金】 総額1億円を限度として、観光宣伝、情報発信、地域資源活用事業等に助成	要求のポイント	・観光協会の運営に対する支援 ・観光関係団体が実施する誘客宣伝事業に対する支援	事業実施の課題	・新たな観光資源の掘り起こしによる全体的な誘客宣伝事業の展開
------	---	---------	--	---------	--------------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	115,000	115,000	0	115,000	115,000	・要求どおり	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	115,000	115,000	0	115,000	115,000		
	一般財源			0				

平成25年度 事業別予算概要

事業名	62145	観光協会等補助金 (コンベンションビューロー助成、 コンベンション開催支援)	内線	2209	予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画		市長公約	1	積極的な観光振興策を実施します。 ・観光と一体となり消費効果が高い大規模会議や大規模展示会などを、飛騨地域全体で積極的に誘致します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。
	番枝					2	款	6		商工費	分野	1		観光	実施計画事業			
担当課	商工観光部 観光課					項	2	観光費		基本施策	2	多くの人々に地域の魅力を知ってもらう	H25実施計画額	26,000 千円				
						目	1	観光振興費		施策	1	戦略的な誘客宣伝						

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	(一社)飛騨・高山観光コンベンション協会、コンベンション開催支援団体	どうしたいのか (意図)	・高山市内でコンベンションを開催することにより、交流人口の拡大、学術文化の振興及び地域経済の活性化を図る	概要	事業の実手法(手段)	【飛騨・高山コンベンションビューロー助成事業】 (一社)飛騨・高山観光コンベンション協会が行うコンベンション誘致等に係る事業に対して補助を行う
	対象者数	0 人					【コンベンション開催支援事業】 高山市内で開催される一定条件を満たしたコンベンションに対して支援補助を行う

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	【飛騨・高山コンベンションビューロー助成事業】 東海地方では岐阜、名古屋を中心に、関東地方では東京を中心に学会事務局や大学等87団体を訪問 飛騨・高山地域で45件(50,263人)のコンベンションを開催(補助対象外コンベンションを含む) 【コンベンション開催支援事業】 補助対象コンベンション開催件数:27件、参加人数(飛騨地域を除く):6,725人、実績額:6,707千円						
	指標名	単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
活動指標	コンベンション開催支援補助金額	千円	目標値	10,000	10,000	20,000	20,000
			実績値	8,927	6,707		
算出根拠等			達成率(%)	89	67		
活動指標	コンベンション誘致訪問件数	件	目標値				
			実績値	87	45		
算出根拠等			達成率(%)				
成果指標	補助対象コンベンション開催数	件	目標値	31	31	31	31
			実績値	39	27		
算出根拠等			達成率(%)	126	87		
成果指標	補助対象コンベンション参加者数(飛騨地域を除く)	人	目標値	7,200	7,200	15,500	15,500
			実績値	7,606	6,725		
算出根拠等			達成率(%)	106	93		
成果指標	高山市観光入込者数	千人	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000
			実績値	3,812	3,481		
算出根拠等			達成率(%)	76	70		
補足			目標値				
			実績値				
算出根拠等			達成率(%)				

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	コンベンションは徐々に増加傾向にあるものの、より一層の増加推進を図るうえでは、コンベンション誘致地域及び業種の拡大やコンベンション支援内容の積極的なアピール、市内民間事業者への事業内容の説明など、全市を挙げた取組みに発展させるための具体的な取組みを検討する必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	・平成23年度中に、スポーツ大会等をコンベンションの対象とするよう補助金交付要綱及び事務取扱要領を改正(平成24年度4月1日より施行) ・コンベンション開催支援補助金の予算額を1千万円から2千万円へ増額 ・改正内容を(一社)飛騨・高山観光コンベンション協会及びスポーツ推進課に報告し、関係団体等への周知を実施																	
次年度の実施方針	<table border="1"> <tr> <td>担当課評価</td> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">・コンベンション誘致訪問地及び業種の拡大 ・スポーツ大会等をコンベンション対象とした旨のより一層の周知</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td>二次評価</td> <td>○ 維持・改善</td> <td rowspan="3">・コンベンション誘致に伴う経済効果について、把握・検証する必要がある。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>縮小</td> </tr> <tr> <td></td> <td>廃止検討</td> <td></td> </tr> </table>	担当課評価	○ 維持・改善	・コンベンション誘致訪問地及び業種の拡大 ・スポーツ大会等をコンベンション対象とした旨のより一層の周知		拡大		縮小	二次評価	○ 維持・改善	・コンベンション誘致に伴う経済効果について、把握・検証する必要がある。		拡大		縮小		廃止検討	
	担当課評価	○ 維持・改善	・コンベンション誘致訪問地及び業種の拡大 ・スポーツ大会等をコンベンション対象とした旨のより一層の周知															
	拡大																	
	縮小																	
二次評価	○ 維持・改善	・コンベンション誘致に伴う経済効果について、把握・検証する必要がある。																
	拡大																	
	縮小																	
	廃止検討																	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	14,998	12,770	26,063	26,063
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,972	1,904	1,681	1,681
	受益者	補助対象コンベンション参加者	(B)	7,606	6,707	15,500

5 予算編成 (Action2)

事業内容	【飛騨・高山コンベンションビューロー助成事業】 (一社)飛騨・高山観光コンベンション協会が行うコンベンション誘致等に係る事業に対する助成 【コンベンション開催支援事業】 高山市内で開催される一定条件を満たしたコンベンションに対する助成	要求のポイント	事業実施の課題	・将来の交通事情の変化を見据えた戦略的コンベンション誘致の検討
------	--	---------	---------	---------------------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		26,063	26,063	0	26,063	26,063	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	26,063	26,063	0	26,063	26,063		
	一般財源			0				

平成25年度 事業別予算概要

事業名	62150	観光振興関係事務費	内線	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画	市長公約	積極的な観光振興策を実施します。 1 高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。 ・情報通信技術は進化し続けており、日々多様化する全世界からの情報ニーズにもしっかりとこたえていく必要があるため、インターネットや携帯端末機などの最新の情報通信技術（ICT）を駆使した新たな誘客施策を展開します。
番枝				款	6	商工費		分野	1	観光	実施計画事業	広域観光推進事業		
担当課	商工観光部 観光課		2209	項	2	観光費	基本施策	1	人々の心を魅了する滞在型・通年型観光地づくりを行う					
				目	1	観光振興費	施策	2	受入体制の整備					

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	観光客(外国人観光客を含む)、市内民間事業者等	どうしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> 各種調査、統計等の作成及び分析とそれに基づく戦略的観光施策の策定と実施による観光客誘致 情報通信技術を活用した観光情報の積極的な提供 ユニバーサルデザインに基づく観光案内の整備 各種協議会などを活用した広域的な観光客誘致促進事業の展開 	概要	事業の実手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 観光統計、交通量調査等の実施及び分析、各種観光資料に基づいた戦略的観光施策の検討 携帯端末の位置情報発信機能を活用した観光情報提供システムの導入 各種協議会への積極的な参加及びイベント、キャンペーン等の実施 おもてなし国際化促進事業補助金による外国人受入体制整備の促進
	対象者数	0 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績		<ul style="list-style-type: none"> 観光統計の作成、交通量調査等の実施 各種協議会事業の実施 おもてなし国際化促進事業補助金実績 7件 1,106千円 						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	おもてなし国際化促進事業補助金実績件数	件	目標値	5	10	10	-
				実績値	9	7		
	算出根拠等			達成率(%)	180	70		
	活動指標	バリアフリー情報端末設置台数	台	目標値	10	10	10	10
				実績値	10	10		
	算出根拠等			達成率(%)	100	100		
	成果指標	観光客入込数	千人	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000
				実績値	3,812	3,481		
	算出根拠等		高山市観光統計	達成率(%)	76	70		
	成果指標	外国人観光客入込数	千人	目標値	300	300	300	300
				実績値	187	95		
算出根拠等		高山市観光統計	達成率(%)	62	32			
算出根拠等			目標値					
			実績値					
算出根拠等			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	それぞれの事業の成果は一定程度あるものの、「観光統計」や観光はがきアンケート等のデータ分析に基づき、市民や観光客のニーズに合った、新たな戦略的施策の検討や実施をしていく必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況		<ul style="list-style-type: none"> ・越中・飛騨観光圏協議会については、平成24年度のみ国から支援を受けられるが、平成25年度以降についての支援を模索中。ただし、高山市としては今後、北陸新幹線の観光に対する影響も考慮し、国の判断を見据えながら今後のあり方を検討中である。 ・おもてなし国際化促進事業補助金は、平成24年度より海外戦略室へ移管 ・経済波及効果調査を平成23年度に引き続き実施 	
次年度の実施方針	担当課評価	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> ・観光情報提供システムの効果的な運用及び分析 ・観光関連アンケート、経済波及効果調査の実施及び分析とそれに基づいた戦略的観光施策の検討
	二次評価	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	<ul style="list-style-type: none"> ・観光情報提供システムについては、有効性等を検証しながら新たなシステムの導入の検討を進めていくとともに、既存のシステムも含めたシステム全体の効果的な運用に努めていく必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	24,754	10,162	9,504	10,271
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	264	109	102	111
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	93,822	93,312	92,861

5 予算編成 (Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 観光統計、交通量調査等の実施及び分析、各種観光資料に基づいた戦略的観光施策の検討 携帯端末の位置情報発信機能を活用した観光情報提供システムの導入 各種協議会への積極的な参加及びイベント、キャンペーン等の実施 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 観光振興に係る一般行政事務費 広域観光関係団体等負担金 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 各種観光基礎資料を基にした戦略的観光施策の検討 携帯端末の位置情報発信機能を活用した観光情報提供システムの効果的な運用
------	---	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		9,504	10,271	767	9,860	9,860	<ul style="list-style-type: none"> ・積算内容を精査 ・おもてなし文化振興事業(芸妓育成)に対する助成制度を創設 	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他		4,020	4,020	868	100		
	一般財源	9,504	6,251	△ 3,253	8,992	9,760		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	62155	旅フェア協賛事業費	内線	会計	1 一般会計	総合計画	政策	4 「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画	市長公約	積極的な観光振興策を実施します。 ・合併後の周辺の自然環境や地域特有の伝統文化など多様な観光資源を新たな観光資源として積極的に活用します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。
番枝				款	6 商工費		分野	1 観光	実施計画事業	誘客推進事業		
担当課	商工観光部 観光課		2218	項	2 観光費	基本施策	2 多くの人々に地域の魅力を知ってもらおう	H25実施計画額	1,400 千円			
				目	1 観光振興費	施策	1 戦略的な誘客宣伝					

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	観光客	どうしたいのか(意図)	旅行目的の来場者や業界関係者へ、高山訪問の動機づけ及び周遊・滞在観光の魅力向上	概要	事業の実手法(手段)	飛騨・高山観光コンベンション協会、飛騨高山旅館ホテル協同組合等の民間団体と協同した誘客事業
	対象者数	- 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	東日本大震災に伴い「旅フェア」が中止されたため、「JATA旅博2011」へ参加し、誘客宣伝を実施							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	旅フェア入場者数 (※H23のみJATA旅博)	人	目標値				120,000
				実績値	120,832	117,236		
				達成率(%)				
	算出根拠等							
	成果指標	観光客入込数	千人	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000
				実績値	3,812	3,481		
				達成率(%)	76	70		
	算出根拠等		高山市観光統計					
	成果指標	外国人観光客入込数	千人	目標値	300	300	300	300
				実績値	187	95		
				達成率(%)	62	32		
算出根拠等		高山市観光統計						
算出根拠等								
算出根拠等								
算出根拠等								
補足								

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	23年度のJATA旅博は、海外旅行の需要喚起に加え国内旅行にも目を向けて開催されたが、次回は従来どおり海外旅行の需要喚起が主となることから、国内旅需要喚起を主目的とした「旅フェア」に出展することが適当
-----------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	国内最大規模の旅行博「旅フェア」に出展し、国内旅行需要者に対してPR活動を展開する	
次年度の実施方針	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	効果的なPR方法の検討と効率的な事業実施
	<input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	3,533	1,519	3,300	3,347
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	38	16	36	36
	受益者: 市民	(B)	93,822	93,212	92,861	92,861

5 予算編成 (Action2)

事業内容	飛騨・高山観光コンベンション協会、飛騨高山旅館ホテル協同組合等の民間団体と協同した誘客事業 首都圏を中心とした一般消費者および国内外のエージェント等観光関係者に対し、飛騨高山を広くPRし、誘客を図る。 ・屋台模型の展示 ・パンフレット等による観光案内 ・地域特産品の試飲や試食 ・メインステージによる観光プレゼンテーション ・国内旅行商談	要求のポイント	国内最大級の旅行の見本市「旅フェア」出展に要する経費	事業実施の課題	・宣伝効果の高いブース装飾と演出の検討
------	---	---------	----------------------------	---------	---------------------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		3,300	3,347	47	3,300	3,300	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	332	3,347	3,015	3,300	3,300		
	一般財源	2,968		△ 2,968				

平成25年度 事業別予算概要

事業名	62300 番枝	観光施設運営事業費	会計	1 一般会計	政策	4 「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画	市長公約	1 積極的な観光振興策を実施します。 ・国際的かつ福祉的観光都市として将来的に持続できる歴史、自然、文化、人情、食、技を中心とした観光基盤をさらに発展させ付加価値を高めます。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。	
担当課		内線	2209	款	6 商工費	分野	1 観光	実施計画事業			観光施設運営事業、観光・交流施設維持修繕改修事業、新穂高エリア環境整備事業、野良犬整備事業
				項	2 観光費	基本施策	1 人々のところを魅了する滞在型・通年型観光地づくりを行う	H25実施計画額			372,500 千円
				目	2 観光施設費	施策	3 観光関連施設の整備				

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	市民及び観光客	どうしたいのか(意図)	自然資源の活用施設や体験交流施設など観光関連施設の整備を促進することにより、滞在型観光地づくりを推進するとともに地域の振興を図る。	概要	事業の実手法(手段)	観光施設29施設の管理運営
	対象者数	0 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	<ul style="list-style-type: none"> 観光施設29施設の管理運営 指定管理による運営(26施設) 観光施設整備(バッテリー小屋屋根葺替、ジョイフル朴の木温泉ポンプ交換、しぶきの湯ろ過装置ろ材取替工事) 							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	管理施設数	箇所	目標値				
				実績値	29	29		
		算出根拠等		達成率(%)				
	成果指標	施設利用者数	千人	目標値				
				実績値	955	930		
		算出根拠等		達成率(%)				
	成果指標	駐車場利用台数	台	目標値				
				実績値	45,718	41,322		
		算出根拠等		達成率(%)				
	成果指標	観光客入込数	千人	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000
				実績値	3,812	3,481		
		算出根拠等	高山市観光統計	達成率(%)	76	70		
			目標値					
			実績値					
			達成率(%)					
			目標値					
			実績値					
			達成率(%)					
補足								

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者制度による運営施設の拡充 類似施設の整理統合
-----------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 3観光施設の廃止 指定管理者制度拡充についての検討 	
次年度の実施方針	担当課評価 <input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	・施設の譲渡や廃止を含めた方針の策定
	二次評価 <input type="radio"/> 維持・改善 <input type="radio"/> 拡大 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円) (A)	146,426	130,097	214,938	325,583
	受益者1件当たり(円) (A/B)	153	140	226	343
	受益者 利用者数 (B)	955,108	930,406	950,000	950,000

5 予算編成 (Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 観光施設の管理運営 新穂高地区における施設整備 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 観光施設の維持修繕にかかる経費 新穂高地区における施設整備にかかる経費 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> 運営を休止している施設の管理及び活用 老朽化した施設の計画的な維持修繕 個々の施設の利用状況や経営状況等を分析した上での譲渡や廃止についての検討
------	--	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		214,938	325,583	110,645	260,732	260,732	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査 施設整備は要求箇所の緊急度を考慮し、必要な事業費を確保 	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金		0					
	県支出金	254	5,754	5,500	5,654	5,654		
	その他	118,451	29,252	△ 89,199	119,514	119,514		
一般財源		96,233	290,577	194,344	135,564	135,564		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	62304	スキー場運営事業費	内線	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画	市長公約	1 積極的な観光振興策を実施します。 ・国際的かつ福祉的観光都市として将来的に持続できる歴史、自然、文化、人情、食、技を中心とした観光基盤をさらに発展させ付加価値を高めます。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。
番枝				款	6	商工費		分野	1	観光	実施計画事業	観光・交流施設維持修繕改修事業		
担当課	商工観光部 観光課		2209	項	2	観光費		基本施策	1	人々のところを魅了する滞在型・通年型観光地づくりを行う	H25実施計画額	20,000 千円		
				目	2	観光施設費		施策	3	観光関連施設の整備				

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	市民及び観光客	どうしたいのか(意図)	自然資源の活用施設や体験交流施設など観光関連施設の整備を促進することにより、滞在型観光地づくりを推進するとともに地域の振興を図る。	概要	事業の実手法(手段)	スキー場2施設の指定管理者制度を活用した運営
	対象者数	0 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績		・2施設(モンデウス・アルコピア)の指定管理による運営 ・スキー場リフト整備						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	管理施設数	施設	目標値	2	2	2	2
				実績値	2	2		
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	
	成果指標	施設利用者数	千人	目標値	100	100	100	100
				実績値	75	80		
				算出根拠等	達成率(%)	75	80	
	成果指標	観光客入込数	千人	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000
				実績値	3,812	3,481		
				算出根拠等	達成率(%)	76	70	
				目標値				
				実績値				
				算出根拠等	達成率(%)			
			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足			目標値					
			実績値					
			算出根拠等	達成率(%)				

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	・積極的な誘客宣伝を実施し、施設利用者の増加を図る必要がある。
-----------------	---------------------------------

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況		・ヒュッテ組合などの関係者と連携した誘客宣伝の実施 ・地域振興におけるスキー場の位置付けの検証 ・市営3スキー場の今後の運営方針の策定	
次年度の実施方針	担当課評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	現行の指定管理期間の最終年度であり、指定管理により運営する。
	二次評価	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・市営スキー場の今後の運営方針を早期に定める必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 39,902	19,774	18,000	76,194
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 535	246	225	952
	受益者	施設利用者 (B)	74,567	80,354	80,000

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・指定管理者制度によるスキー場の運営	要求のポイント	・リフト等施設の維持修繕にかかる経費	事業実施の課題	・投資効果と地域への経済波及効果等を十分精査した上でのスキー場の具体的な管理方針の策定 ・施設の老朽化に伴う計画的な維持修繕
------	--------------------	---------	--------------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		18,000	76,194	58,194	18,000	18,000	・精算内容を精査 ・施設整備は安全面から必要性の高い箇所を実施	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	13,073	14,071	998	13,049	13,049		
一般財源		4,927	62,123	57,196	4,951	4,951		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	62315	観光案内所運営事業費	内線	会計	1 一般会計	総合計画	政策	4 「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画	市長公約	1 積極的な観光振興策を実施します。 ・国際的かつ福祉的観光都市として将来的に持続できる歴史、自然、文化、人情、食、技を中心とした観光基盤をさらに発展させ付加価値を高めます。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。
番枝				款	6 商工費		分野	1 観光	実施計画事業	観光案内所運営事業		
担当課	商工観光部 観光課	2209	項	2 観光費	基本施策	1 人々の心を魅了する滞在型・通年型観光地づくりを行う	H25実施計画額	5,000 千円				
			目	2 観光施設費	施策	2 受入体制の整備						

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	外国人も含めた観光客	どうしたいのか(意図)	観光客満足度を高めることで、よりたくさんの観光客を誘致する。また外国人観光客への対応も行い、海外からも観光客を確保する	概要	事業の実手法(手段)	観光案内所窓口及び電話での観光案内、外国語版も含めた観光パンフレットの配布
	対象者数	271,612 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	・接遇の質向上、近隣の観光案内所との連携強化を図るため、金沢市の観光案内所と協議 ・外国人観光客への接遇の質向上を図るため、ピジット・ジャパン案内所研修へ参加							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	観光案内所における日本人観光客への案内件数及びパンフレット配布件数	件	目標値	300,000	300,000	300,000	300,000
				実績値	287,104	260,634		
				算出根拠等	観光統計	達成率(%)	96	87
	活動指標	観光案内所における外国人観光客への案内件数及びパンフレット配布件数	件	目標値	23,000	23,000	23,000	23,000
				実績値	20,533	10,978		
				算出根拠等	観光統計	達成率(%)	89	48
	成果指標	高山市への再来訪の意向	%	目標値	100	100	100	100
				実績値	98	98		
				算出根拠等	観光統計	達成率(%)	98	98
	成果指標	観光客入込数	千人	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000
				実績値	3,812	3,481		
算出根拠等				観光統計	達成率(%)	76	70	
			目標値					
			実績値					
			算出根拠等					
			目標値					
			実績値					
			算出根拠等					
補足	・金沢市の観光案内所との連携が強化された。 ・外国人観光客への接遇の質が向上した。							

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	各種研修等とおし、接遇の質の向上が図れてきているが、年々観光客のニーズが多岐に渡ってきているため、観光客満足度を更にするために、よりきめ細かな対応を図っていく必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況	特殊な問合せ案件に対しても真摯に耳を傾け、利用者の方に不快な思いをさせることのないよう、丁寧な対応を心がけている。	
次年度の実施方針	〇 維持・改善 〇 拡大 〇 縮小 〇 廃止検討	近隣の観光案内所との連携を図りながら、より観光客のニーズに合った観光案内をすると共に、日本人・外国人問わず、高山市へのリピーターとなってもらえるような話題性のある観光案内所を目指す。
	〇 維持・改善 〇 拡大 〇 縮小 〇 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 4,555	4,423	4,780	5,658
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 15	16	14	17
	受益者 施設利用者(案内件数)	(B) 307,637	271,612	330,000	330,000

5 予算編成 (Action2)

事業内容	観光案内所窓口及び電話での観光案内、外国語版も含めた観光パンフレットの配布	要求のポイント	高山駅前及び古い町並内の観光案内所の管理運営にかかる経費	事業実施の課題	・外国人観光客(英語圏以外)に対する案内体制の充実 ・JR特急列車のダイヤにきめ細やかに対応した案内体制の構築
------	---------------------------------------	---------	------------------------------	---------	--

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		4,780	5,658	878	4,780	4,780	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	426	5,658	5,232	4,780	1,548		
	一般財源	4,354		△ 4,354		3,232		

平成25年度 事業別予算概要

事業名	62320	観光施設管理事務費	内線	会計	1	一般会計	総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして	根拠計画	高山市産業振興計画	市長公約	1 積極的な観光振興策を実施します。 ・高山市を訪れる年間観光客500万人、外国人観光客30万人を目指します。
番枝				款	6	商工費		分野	1	観光	実施計画事業	観光施設運営事業		
担当課	商工観光部 観光課		2209	項	2	観光費	基本施策	1	人々の心を魅了する滞在型・通年型観光地づくりを行う	H25実施計画額	500 千円			
				目	2	観光施設費	施策	3	観光関連施設の整備					

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象)	市民及び観光客	どうしたいのか(意図)	滞滞在型・通年型の観光地づくりを行うために観光関連施設の維持管理を行う。	概要	事業の実手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> ・乗鞍インターネットライブカメラによる映像配信 ・看板、モニュメント維持管理
	対象者数	0 人					

2 事業の推移・結果 (Do)

H23実績	・ライブカメラの維持管理と映像配信							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24	H25
	活動指標	インターネットライブカメラ配信回数	回	目標値	12,816	12,840	12,816	12,816
				実績値	11,976	12,120		
		算出根拠等	24回/日 × 169日 + 24回/日 × 365日	達成率(%)	93	94		
	成果指標	乗鞍岳入込者数	人	目標値	200,000	200,000	200,000	200,000
				実績値	200,816	181,932		
		算出根拠等	乗鞍自動車利用適正化協議会の推計数値	達成率(%)	100	91		
	成果指標	観光客入込数	千人	目標値	5,000	5,000	5,000	5,000
				実績値	3,812	3,481		
		算出根拠等	高山市観光統計	達成率(%)	76	70		
	成果指標	インターネットライブカメラHP閲覧者数	人	目標値				
				実績値	257,408	239,629		
		算出根拠等		達成率(%)				
	補足			目標値				
				実績値				
算出根拠等			達成率(%)					

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	・鮮明な映像が配信できるようカメラのメンテナンスを定期的実施する必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH24対応状況		・畳平ライブカメラの修繕
次年度の実施方針	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・継続してインターネットライブ映像を配信する。
	○ 維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	(担当課評価に同じ)

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額	H25 予算要求額
	歳出(千円)	(A) 405	404	562	801
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 2	2	2	3
	受益者	ライブカメラHP閲覧者数 (B)	257,408	239,629	250,000

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・乗鞍インターネットライブカメラ等の管理運営	要求のポイント	・乗鞍インターネットライブカメラ等の管理運営に係る費用	事業実施の課題
------	------------------------	---------	-----------------------------	---------

事業費(人件費除く)		H24当初予算額	H25予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	562	801	239	702	702	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	562	801	239	702	702		